

令和6年度 第2回倉敷科学センター協議会 議事録

【日時】 令和7年3月27日(木) 18:30~21:07
【会場】 倉敷科学センター研修室及びプラネタリウム
【出席委員】 上山委員、桑本委員、塩田委員、中原委員、原委員、廣畑委員、福田委員、箕口委員、三宅委員、山田委員
【欠席委員】 なし
【事務局】 仁科教育長、森部長、浅野館長、三島主幹、石井主幹、西村主幹
【傍聴者】 1人

1 開会

(1) 挨拶

【事務局】

それでは、これから倉敷センター協議会を開催いたします。

まず、会議の成立について確認をさせていただきます。倉敷科学センター条例施行規則第10条第6項の規定により、委員の半数以上の出席を以て会議が成立となります。委員数10人のところ、本日の出席者は全員、10人ですので会議は成立しております。

また、この会議は原則公開となっており、本日の傍聴者はお一人です。

それでは、開会にあたり、倉敷市教育委員会仁科教育長からご挨拶を申し上げます。

【教育長】 科学センター協議会の第2回を始めさせていただきます。さて、この科学センターは、設置条例に掲げております、「科学及び科学技術に関する知識の普及啓発を通して、創造性豊かな青少年の育成を図る」こういったことを目的として様々な行事を行っております。

私も3年前、ここの教育センターにいたんですけども、たくさんの幼稚園、小学生が入れ替わり立ち替わり来る感じで、本当に人気のスポットになっていると思っております。

今年度はドイツで世界初の近代的なプラネタリウムが製作されて100年経ったということで、定例の講座の他にプラネタリウム100周年に関するプログラムの上映であるとか、それから小惑星イトカワ、リュウグウから採取いたしました粒子のサンプルの特別展示、そしてコロナ禍も明けまして5年ぶりに移動プラネタリウム、小学生を対象に出前講座といったことをいろいろ取り組んでいるところでございます。

本日は、こうした令和6年度の事業報告と来年度の事業計画について、ご提案をさせていただくとともに、夏休みの企画展および7月から上映させていただきます全天周映画の上映番組の選定をお願いさせていただきたいと考えております。

また、令和6年8月の協議会で少し触れさせていただいているのですが、教育委員会で、昨年12月に新自然史博物館・ライフパーク倉敷整備基本計画を策定いたしております。新自然史博物館がこちらのほうへ移転してくる、これを機にライフパーク倉敷があなたの「知りたい」に応える「知の拠点」をめざす、こういったコンセプトで科学センター、市民学習センター、埋蔵文化財センターが、一緒になって連携しながら、このライフパーク倉敷のリニューアルに向けていま準備している、こういった内容のご報告もさせていただきます。

たいと思っております。

本日の協議会におきまして、委員の皆様方には、専門的なお立場で多角的な視点から忌憚のないご意見、ご提言をいただきますようお願いいたしますとともに、今後とも本市の生涯学習の推進に対しましてご支援、ご協力、ご指導いただきますようお願いをいたしまして、ご挨拶させていただきます。本日はよろしくようお願いいたします。

(2) 委員紹介 (名簿順に自己紹介)

(3) 事務局紹介 (自己紹介)

2 諮問

(1) 令和7年度夏休み企画展の選定について

(2) 令和7年7月期全天周映画上映作品の選定について

【事務局】 それでは次第の2、本日諮問する事項について、諮問書を私から読み上げさせていただきます。

(浅野館長が諮問書読み上げ後、箕口会長に諮問書を手渡す)

3 報告・協議事項

(1) 議事録署名人の選任

【事務局】 ここから箕口会長に議事進行をお願いいたします。

(ここから箕口会長が議事を進行)

【会長】 ここから進行を務めさせていただきます。

最初に、本日の議事録署名人お二方を決めたいと思います。いかがでしょうか。

(とくに意見なし)

自薦、推薦がなければ、私のほうで指名させていただいてよろしいでしょうか。

(全員異議なし)

桑本委員、廣畑委員、よろしくようお願いいたします。皆様よろしいでしょうか。

(全員異議なし)

(2) 【報告1】令和6年度事業実績について

(3) 【報告2】令和7年度事業計画について

【会長】次に、次第3、令和6年度事業実績について、および令和7年度事業計画について、事前に資料の送付があったかと思いますが、事務局から説明を受けます。

【事務局】次第の後ろに付いてある資料に基づいて説明いたします。実績のまとめとしては、7ページからご覧いただきたいと思いますが、まず、科学センター事業の予算額といたしましては、右上にありますように、106,843,000円が、現在の予算額となります。当初予算では、第1回の協議会でもご説明しましたが、104,132,000円の予算でした。ということは、270万円の予算が増額になっています。これは、科学センターに9人いる会計年度任用職員の報酬等の増額でした。

事業費の内訳として3つの事業が書いてあって、それぞれ予算金額を書いております。それを合算したものが、先ほど申し上げました106,843,000円に合致するようになります。

続いて、2の開館日数です。3月末日までには305日になる見込みで書いております。今年度の臨時休館は、おそらくこれからもないだろうと思っております。

3の利用者数です。展示室、宇宙劇場、講座その他、それらをすべて合わせたものが2月末日現在で161,154人になっております。昨日3月26日までは11,670人になっております。先ほどの161,154人に加えまして、172,824人です。きょうから3月末日まで、もう少し増えるかと思っております。昨年度、令和5年度が160,488人という実績でしたから、1万2千人以上多くなっていることは間違いないと思っております。

つづいて、4の宇宙劇場運営事業、こういったものを上映しております。またご覧いただきたいと思っております。

次に、8ページの5に、展示室運営事業について掲載しております。この中で2つご紹介いたします。(2)夏休み企画展「昆虫キングダム 最強昆虫を決めよう！」は、夏休みの間、特別展示をしました。期間中の入場者数が26,661人ということで、前年度に比べると30人少なくなっています。令和5年度は何をやったかということ、「なりきり！きょうりゅうランド」ということで、恐竜をテーマにした特別展でした。どちらも盛況でした。7年度の企画展については、本日ご協議いただく予定になっています。

その下、(3)ですが、全国巡回展示 小惑星「イトカワ」「リュウグウ」粒子サンプル特別展示を倉敷で行うことができました。これは小惑星探査機「はやぶさ」、そして「はやぶさ2」が地球に持ち帰った粒子を、JAXAなどの協力により展示をしたものです。期間中、6,950の方が見学をされました。

続いて6の、講座・イベント・普及事業についてご説明をします。定例の講座、大規模なイベント等については予定どおり実施できました。9ページのほうへ移っていただきたいんですが、特別企画ということで、大きなイベントも4つほどこなしております。

つづいて(3)の公開教室ですが、移動プラネタリウムを5年ぶりに実施いたしました。コロナ禍も落ち着いてきていますので、小学校を訪問することができました。ここで訂正が一つあるんですが、移動プラネタリウムの回数は4回が正しいです。4校で、計9回上映しております。移動プラネタリウムというのは、直径7メートルの半球のドームを小学校

に持ち込んで、そこでプラネタリウムを上映するものでした。

それから、一番下の 10.旧倉敷天文台スライディンググループ観測室保存修理工事についてもご説明したいと思います。令和 5 年度からの繰り越しの予算を使っております。修繕料 5,577,000 円の実績でございました。6 月 30 日に完成して、完成後は 9 月と 10 月に太陽観察会を行いました。その他、プラネタリウムで本田實さんの生涯と功績を紹介する番組を 11 月に 4 日間投映しております。

それから、令和 7 年度事業計画に移りたいと思います。10 ページをごらんください。今年度と違うところを主に説明していきたいと思います。科学センター事業の事業費ですけれども、令和 6 年度が 106,843,000 円ということは、先ほど申し上げました。来年度は、109,934,000 円ということで、300 万円ほどの増額になっています。この主な原因としては、会計年度任用職員の報酬の増額、それから時勢に応じた委託料等の増額となっております。

続いて 2.の利用者数ですが、今年度の実績を少し上回る人数を見込んでおります。

それから、宇宙劇場運営事業なんですけど、その中の(2)全天周映画投映番組、その表のから 3 番目にファミリー向けということで「ドラえもん 宇宙の模型」をいま上映しております。これは、前回の協議会で選定していただいたものです。大変人気でして、平日でも、160 席のプラネタリウムが満席になることもあって、土日には臨時上映も実施しているところです。

前回の協議会の議事録を確認いたしましたら、委員の先生方からこういった意見がありました。「天体に興味のない子どもでもドラえもんということで見てもらえるんじゃないか」「有名なキャラクターの力を借りてもいいのではないか」「集客力がある」ということで、まさにそのとおりで満席になっている状況です。7 月から上映する全天周映画作品については、今回協議をしていただく予定になっております。

その次のページをごらんいただきたいと思います。11 ページになります。5.の講座・イベント・普及事業につきましては、これも例年どおりのものを実施していきたいと思っておりますが、すでに決まっているものもありますのでご紹介したいと思います。

各種講座の下から 3 番目、科学講演会等とあります。そのうちの一つ、5 月 17 日に開催するもので、NHK ラジオ「こども科学電話相談」を担当されている永田美絵さんを講師としてお迎えして、講演会を実施します。講演会のテーマは「プラネタリウムで宇宙を語って」という内容になります。5 月 17 日土曜日の 19 時から開催するものです。

それから一番下、プラネタリウムの特別投映ということで、4 月 19 日の土曜日に「爆笑！星兄プラネタリウムショー」を、1 日に 2 回開催するものです。全国的に人気があるプログラムでございます。

それから、ここには記載をしなかったんですけども、修繕をした旧倉敷天文台スライディンググループ観測室なんですけど、太陽観察会を 4 回実施するほか、新たに施設の説明会の実施や天体望遠鏡を常設することを検討しております。それが実現できましたらさらに定期的な催しも実施できると考えております。なお、倉敷天文台は日本で初めての民間の天文台で、大正 15 年に開設されました。令和 8 年度に 100 周年を迎えるということで皆様にご報告をいたします。

【会 長】ありがとうございました。令和 6 年度の事業実績および令和 7 年度事業計画について

て、何かご意見、ご質問はございますでしょうか。

(とくに意見無し)

【会 長】先ほど館長からの、ドラえものの集客力がなかなかすごいということでしたけれども、ちょっと事前にお話を伺いましたら、かなり多くの方に来ていただいですごく人気ということなので、今回新しい作品を選ぶときにドラえもんとペアになる作品となりますので、また7月ということで、今日どちらを選ぶか、みなさんと考えていきたいと思ひます。

【委 員】1点だけいいですか。アストロクラブが令和6年度の開催回数が横棒なのですが、開催されていないということでしょうか。

【事務局】アストロクラブは、中学生、高校生向けの天文講座です。科学センターはどうしても中学生、高校生になると集客が弱いところがあります。中学、高校は学校によっては科学部、天文部があつたりしますが、そういう部に入るのは難しいが、お客さんとして天体観望会に参加して望遠鏡を見るだけでなく、何かしてみたいという中学生、高校生の受け皿になればとやっていますが、人数的には多い年で10人、少ない年は2人といった具合で、今年度はたまたま申し込みがゼロになった状況です。来年度については、すでに問い合わせも来ていまして、お申し込みがあれば実施する予定です。

【委 員】PRで各学校にチラシを配ったりしていますか。

【事務局】各学校へのチラシ配布はできていないのですが、天体観望会などの場でPRできればと考えています。学校に天文部、科学部があると、どうしてもそちらへ行ってしまうのが実情で、苦戦しているところがあります。

【委 員】専門的なことをこちらで教えていただけると思ひるので、ぜひ盛況になれば良いなと思ひました。

【会 長】ありがとうございます。他に何かご意見、質問がござひますか。

【委 員】コメントなんですけど、日食や月食といったわかりやすいイベントが無いと、なかなかそういった講座の集客は難しいかなと感じます。今年度は月食がありますが、ちょっと変な時間帯なので。

【事務局】年度でいうと、来年3月には良い時間帯の皆既月食があります。ほぼ1年先になりますが。

【委 員】そういったところを呼び水にさせていただいて。

【会 長】他にございますでしょうか。

(とくに意見・質問なし)

【会 長】では、次第 3 の令和 6 年度事業実績についておよび、令和 7 年度事業計画についての報告は、それぞれ認められたことといたします。

(全員異議なし)

(6) その他

【事務局】会長、よろしいですか。

【会 長】はい、お願いいたします。

【事務局】先ほど、教育長の挨拶の中にもありましたが、新自然史博物館・ライフパーク倉敷整備基本計画について、手短かに説明させていただきたいんですが、よろしいでしょうか。

【会 長】よろしくお願いいたします。

【事務局】本日資料をお配りしていると思います。カラーA3 判の 2 つ折りのものです。こちらをご覧くださいと思います。「新自然史博物館・ライフパーク倉敷整備基本計画」と書いてあります。本編はかなり分厚いので、抜粋しております。表紙を見ていただきたいのですが、真ん中にあります市民学習センターを中心として、科学センター、埋蔵文化財センター、そしてこちらにやってくる自然史博物館が一体となって、倉敷市の知の拠点をめざそうというものです。表紙をめくっていただいたら見開きになりますが、右側の図面にカタカナを振っています。その説明が左側に書いてある、そういう構図になっております。

まず移転の場所の確認ですけれども、自然史博物館が移転してくるのは、「ア」の所です。ライフパークの正面玄関を入れて右手側に図書室があります。その図書室を改修してエントランスにする。その奥側に自然史博物館を新築するものです。それから、ライフパーク倉敷もそれに備えて再整備をしましょうというものです。例えば、現在のトレーニングルームの部屋を団体が待機、休憩できる部屋に改修をすとか、下の図の右側の「ク」ですが、バス駐車場の台数を増やすといったことが挙げられます。学校など団体利用者の利便性向上を図る目的です。

最後の 4 ページをご覧くださいと思います。実際にいつから使い始めるのかということ、令和 11 年度となっております。この整備計画には科学センターの改修は含まれておりませんので、新しい自然史博物館が移転する機会に、科学センターも「知の拠点」の一翼が担えるように、展示設備などの更新について計画を立てていきたいと考えております。

この整備計画については、科学センター協議会の本題ではありませんので、紹介のみとさせていただきます。ありがたく思います。

【会 長】ありがとうございました。

(4) 【協議 1】令和 7 年度夏休み企画展の選定について

【会 長】では続いて、次第 3 の (4)、令和 7 年度夏休み企画展の選定について、事務局から説明を受けます。

【事務局】令和 7 年度夏休み企画展の選定について、今回は映像資料をご準備しましたので、機械の準備をします。こちらのクリップ止めのカラー印刷 5 枚組が資料となります。

(映像およびモニターの準備)

まずこの 5 枚の資料ですが、1 枚目が今回の選定の候補に挙げさせていただきました、2 つの企画の概要です。その次 2 枚目、3 枚目がひとつの企画「万華鏡と鏡のふしぎ展」の資料となります。その次がもうひとつ、対抗する「スペースパーク」の資料となります。言葉では伝わりにくい部分があることを毎回感じておりましたので、企画提案いただいている会社 2 社に映像資料をご準備いただきました。まず映像をご覧いただき、そのあと補足の説明をさせていただけたらと思います。

まず 1 つ目は、「万華鏡と鏡のふしぎ展」です。

(映像資料を視聴)

説明させていただきます。「万華鏡と鏡のふしぎ展」ですが、まず映像にありますような家族で楽しめる大型展示や鏡のアトラクションをたくさん展示していただく予定です。紙資料の最後に会場のレイアウトもごございますのでご参考になさってください。ご家族連れでいらっしゃる方が大変多いので、一度に大人数で楽しめる展示物が展示されます。

視覚的な感覚、その不思議さを楽しむ展示ですので、小さいお子さんなりの不思議さと年配の方なりの不思議さ、世代を問わずいろいろな幅広い世代で楽しめる展示物が多く、それぞれの楽しみ方を知っていただける企画展になっていると感じています。そのほか、大型なもので資料にも挙げていますが、鏡の回廊とあって、まっすぐな床に傾斜のついた鏡の側面を用意して、まるで斜めに歩いているような感覚の不思議さを楽しむものであったり、映像にありました人間万華鏡とあって、鏡に包まれた中で自分の鏡像が何個も見える、お子さんにたいへん人気の展示なども準備しています。ヒーリング万華鏡とあって偏光板を使った柔らかい色合いのものもあります。さらに、視覚的な楽しみ方をする展示ですので、写真を撮ったり、撮った写真を SNS 等に上げていただいて、さらなる情報発信をしていただいて、集客の期待につながるものもあるかと思えます。

やはり今回のいちばんの目玉は万華鏡と鏡のふしぎ展ということで、日本有数の万華鏡作家の方が作られた作品が複数出てまいります。覗いた時の鏡像を楽しめるのはもちろん、その姿かたちに見るからに特徴がある造形であったり装飾であったり、ふだん子どもたちが目にしないような万華鏡の作品の数々がたくさん展示されていて、実際手に取って触って覗いて楽しむこともできる、万華鏡の良さですね。芸術的な良さもありますが、科学的に覗いて

鏡像を楽しむという部分も科学センターとしては大事にしたいので、そういったご提案をいただいています。以上、万華鏡と鏡の不思議でした。

もう一方の「スペースパーク」についても、映像資料がございます。

(映像資料を視聴)

補足をさせていただきます。宇宙をテーマにした企画展「スペースパーク」です。ロケットの模型やさまざまな掲示物、ごらんいただいたデジタルのアトラクションや、実際に操作できるロボットなどがたくさん用意された、宇宙に関する宇宙開発や科学技術にさまざまなアプローチで興味がわく企画展となっていると思います。

会場に入って、H3 ロケットや月面探査機 SLIM、そういった模型がたくさん展示されていて、宇宙開発年表のような掲示物、学習パネルが用意されます。さらに、子どもが楽しめる月面浮遊レース。ぬり絵をしたものをスキャナーで読み込んで、デジタルでレースに参加できて、それがペーパークラフトになって出てきます。ジャンプアクションでデジタルレースとして楽しめますし、ペーパークラフトをお家に持って帰って家でも楽しめるという、塗って楽しい、跳んで楽しい、作って楽しいという、デジタルアトラクションの内容になっていると思います。

映像の後半になりますが、実際に操作できるロボットがたくさん展示される予定です。今ここに実物を、科学センターにある SORA-Q ですね、こういった実際に操作できるロボットを 10 台ほど用意できます。実際に 2023 年の 1 月に月面探査機 SLIM が横倒しに着陸した写真がかなりニュースに流されたと思いますが、それを撮影したのが月面にいた SORA-Q ということです。同志社大学とタカラトミーさんが共同で開発して、今、うちでも実験ショーに使ったり、科学展示室に使われたりしているものですが、それを実際に操作できる体験、みなさんに触っていただけるようになっていきます。また、映像にもありましたロボットアーム、国際宇宙ステーションでは実際、ロボットアームが船外活動で操作して活躍する場面がありますから、そのような操作の体験がいま映像にあるような、こどもたちに触って楽しんでいただける、宇宙を疑似体験できるような内容かなと思っています。

以上、紙資料と合わせて映像資料をごらんいただきました。紙資料をゆっくりごらんいただいて、ご協議いただければと思いますが、夏休みの企画展は、改めて 7 月 19 日の土曜日から 8 月 31 日の日曜日まで、昔の夏休み期間を、倉敷市ではもうちょっと早くに学校が再開されるんですが、全国にあわせて 8 月 31 日までを予定しています。

候補としては、いくつかご提案いただいた中で、今日ご覧いただいた 2 社の提案からご協議をいただきたいと思っています。

夏休みは、来場者が 1 年間で一番多い期間になりますので、とくにお子さんだけじゃなくて、親世代、おじいちゃん、おばあちゃん世代、家族連れで楽しめる、行ってみたい、楽しそうだなと思っていただけるような、科学センターに足を運ぶきっかけとなるような企画展を選定していただければありがたいなと思います。

今回の候補に挙げさせてもらったものは、どちらも要件を満たすものだと思いますが、その中からはさらにより良いものをご協議いただければと思います。なお、こちらのオペレ

ーションの問題もありますので、人の流れが滞ってしまうと問題ありますし、やっぱりたくさんの方の来場者の方に楽しんでいただきたいので、一度に来場者がたくさん遊べるものであったり、限られたスタッフでも運営が行えるものといった面でも、ご協議いただけたらありがたいです。以上この2案から今年の夏休みの企画展について、選定をお願いできればと思います。

【会 長】ただいま説明がございましたが、質問を受けたいと思います。何か企画展についてご質問はございますでしょうか。

【委 員】万華鏡は全部、実際に触れるんですか。

【事務局】準備いただくものは、万華鏡作家の作品は、触れるように伺っています。

【委 員】わかりました。ありがとうございます。

【会 長】他にご質問はございますか。

(とくに質問なし)

それでは、これから企画展選定に関する協議をお願いいたします。みなさん一言ずつご意見を聞いていきたいと思っております。では、名簿の順にさせていただきます。お願いします。

【委 員】私は小学生のこどもがいますので、以前ライフパークで実際に絵を描いて、それがデジタルになって、ということも経験させていただいて、非常に楽しく参加させていただきました。「スペースパーク」のほうでそういう企画もあって、きっとこどもたちは喜んで参加するだろうなと、また模型とかも楽しく操作するだろうなと思って、魅力を感じているところです。ただ先ほどお話があったように、少ないスタッフの方で回すということ、また来館者の方が8月に合計2万人という中で、たくさんの方を同時に楽しませることができると考えると、万華鏡のほうも良さがあるのかなと、悩むところだなというのが正直なところです。

【会 長】では続きまして、次の委員さんお願いいたします。

【委 員】どちらも触る、体験するということがあって、こどもたちが非常に喜ぶんじゃないかなと思っています。作るという部分が欲しいなと思うと、「スペースパーク」のほうが、何か作って持って帰れるのかなと思いました。以上です。

【会 長】では次の委員さんお願いいたします。

【委 員】はい、個人的に宇宙が大好きなので、宇宙にすごく惹かれるんですけど、先ほども

ちょっと話が出たお客様への対応とかを考えると、万華鏡のほうが同時にたくさん体験ができて、写真がこう、自分を万華鏡の中に入れて写せる、ご自分のお子さんとかを写したり楽しめる、今風の感じがすごく魅力的だなと、という意見でございます。

【会 長】では次の委員さん、いかがでしょうか。

【委 員】どちらもいい内容だなと思って選びづらいところがあったんですが、全天周映画が宇宙に関係する内容なので、「スペースパーク」のほうが興味を持って続けていけるのかなというのはありました。ひとつ気になるのが、どうしても展示ブースが大きく3つとなりますので、人の動きが滞るんじゃないかなと、多くの人数を動かすところには難しいのかなと。こどもたちは絵を描くと夢中になって時間がかかったりすることもあるので、集客が心配な点があります。それ以外のロボットアーム操作とかはすごく興味を持って行くので、集まりやすいと思う。逆に、万華鏡のほうだと、多くの内容が散りばめられているので、人が行き来する動きとしては、そんなに長居するところではないと思うので、回転率はいいのかなと思うが、それぞれの場所にスタッフを置くとなると、ちょっと人数がかかりそう。作家の作品とか壊したりしないかと、人の流れが少し気になる。それから、体験とかでそういったものをもらって帰るのは、すごくこどもたちが喜ぶと思うので、欲を言えば、万華鏡のほうにそういった簡単に自分で作れるような万華鏡があれば、こっちのほうが良いかなと。予算もあると思いますが、人の流れなど諸々考えると、万華鏡にプラスアルファがあると良いかなと。以上です。

【会 長】では次の委員さん、どうでしょう。

【委 員】こどもたちの姿をイメージすると、スペースパークのほうに飛び付きそうだという感じを持ちました。ただ、時間をかけてじっくりいろんな不思議だとかすごいなという、不思議さを感じるのは、万華鏡もずいぶん魅力があるなと思いました。それで、やっぱり夏休みにこどもがいっぱい来てはすごいねって思えるのは「スペースパーク」かなと思うので、こちらを推したいなと感じます。

【会 長】次の委員さん、いかがでしょう。

【委 員】二つとも、触れるし、お土産もあるしで、どちらとも良いと思ったんですけど、万華鏡のほうが、回転して次から次へと楽しめるということで、回転率が良いのではないかな。当然「スペースパーク」も良いんですけど、夏休みの時期と、人数とを見ると、そちらが良いのかなと感じました。

【会 長】次の委員さん、いかがでしょう。

【委 員】たぶん皆さんとほぼ同じ意見です。個人的には、宇宙が専門ですので「スペースパーク」が良いんですけど、万華鏡のほうが回転率は良いだろうなと感じます。「スペースパ

ーク」も、月面浮遊レースがどれくらい時間をかけて回転するのかなというのが見えない所があって、そこが懸案事項ですね。

【会 長】ありがとうございます。次の委員さん、いかがでしょう。

【委 員】どちらも子どもたちには人気が出そうで、素晴らしいと思いますが、夏休みということで人が集まりやすく、流れが滞ってしまいそうなのが、「スペースパーク」のほうのかなと思っています。万華鏡のほうは、たくさんの人に触れてもらえるのかなと思っていますので、そちらが良いかなと思います。

【会 長】次の委員さん。

【委 員】今年は大阪万博があって、大阪万博の売りが火星の石というのがあるので、大阪万博には行けないけどライフパークには行けるぞと、親御さんが連れてきて楽しむんだったら、「スペースパーク」かなという気がしました。みなさんが言うように回転率とか、たくさん来られることを考えると万華鏡も捨てがたいなと思いました。直感的には、「スペースパーク」が良いかなと思いましたが、みなさんのご意見を聞くと万華鏡も悪くないなと。私も万華鏡は好きなので持っていますが、科学の祭典でも万華鏡づくりのブースもやっているの、子どもたちが集まって喜んで作っているのを見るので。子どもたちに「万華鏡を一緒に見ようよ」と言って、子どもたちが来るかは微妙。親御さんたちは知っていますが、子どもたちにはちょっと弱いかなと感じました。

【会 長】ほぼみなさんと同意見です。たしかに飛びつくのは「スペースパーク」だと思うんですが、人員の話も出てくると、万華鏡の使い方が分からないという人はたぶんいないので、直感的に動かし方もわかるので、説明に行かなくも良いかなと思いますが、「スペースパーク」のほうは、機械操作という点では、どうやったら動くよと説明が必要になるとそこに人手がかかるかなと。月面レースも時間がどれくらいかかるのか。

【事務局】月面浮遊のデジタルレースについては、昨年度、今年度の企画展で恐竜、昆虫と題材を変えて同じオペレーションで我々は経験できているので、ある程度限られた人数でも、回転をそこまで落とすことなく運営できる見通しはございます。

【会 長】ありがとうございます。ほかにご質問があれば。

【委 員】ひとつお尋ねしたいのですが、例えば万華鏡のほうで、プラスで体験ができればと話をさせていただいたんですが、この次年度の計画の中の「わくわく工作室」といった中に盛り込める、「実験・工作スペシャル」が8月にあるので、その中に入れ込めるのであれば、こちらの集客にもつながるのかなと思えたので、そういうプラスを考えていいのかなと思いました。

【会 長】 どうでしょう、盛り込めたりしますか。

【事務局】 時期が離れてしまうと、なかなか子どもたちの考えが結びつかない所もあるので。

【委 員】 2 回来るチャンスにもなるのかなと思って。夏休みの時期だと。

【事務局】 そうですね。企画展の中で何かできることがあるのが一番いいのかなと感じます。

【会 長】 持ち帰れる物があると良い、というお話が先ほどあったので、私も、万華鏡自体は持ち帰れなくても、こうやったら自分のおうちでも作れるよ、とレシピみたいなものを参加された方に 1 枚お渡しして、よければ作ってみてくださいとできればいいかなと思いました。

では、時間もありますので、そろそろ結論を出したいと思います。今から多数決を採らせていただきたいと思います。

「万華鏡と鏡の不思議展」がいいと思われる方。

(5 名が挙手)

「スペースパーク」がいいと思われる方。

(5 名が挙手)

割れましたね。これは、どういたしましょうか。

【事務局】 ほかにご質問があれば、お答えできることなら。

【会 長】 何かご意見ございますでしょうか。

【委 員】 すみません、「スペースパーク」で私が悩んでいた時に、実際にたくさんの方が来た時に本当に回せるのかな、という不安があったんです。先ほど事務局から、そこは行けますよというお話をいただいたので、そちらに手を上げたんですが、魅力はやはり宇宙のほうがあるなと思ったので、毎日どれくらいの子どもたちが来るものなんですかね。

【事務局】 夏休みは相当来ます。具体的な数字は、表を見ていただいたほうが間違いないと思うんですが。

【委 員】 展示室有料で見ると、大体 1 万人。1 日平均三百何十人。三百何十人が来た時に、回せる実績があるのであれば、安心して「スペースパーク」のほうを推せるかなと思ったんですが、そこは大丈夫でしょうか。

【事務局】ぬりえを大勢されている場合は他のブースへ行ったり、常設展示がかなり充実しますので、企画展が混んでいる時はこっちで楽しんで、空いている時にこっちに来ようとか、柔軟に対応していただいていますし、チケットをお持ちであれば当日は何度でも再入館できるので、喫茶店で食事をしてから、図書館で本を読んでから再入館する方もいらっしゃるのでは、お待ちいただくこともあるとは思いますが、一日の中では楽しんでいただけたと思います。

【委員】自分の不安要素がひとつ消えました。

【委員】7月から11月の全天周映画が、「ドラえもん」と「MMX」で宇宙系なので、そういう面で「スペースパーク」も宇宙系で、という印象を持ちました。

【会長】他にいかがでしょうか。

(とくに反応なし)

では私から良いですか。企画展に参加されて、どれくらいの時間、この中にいらっしゃるんですか。

【事務局】午前いっぱいとか、あるいは午後いっぱいいらっしゃる方はたくさんおられます。

【会長】何時間もこの中で楽しんでいらっしゃるんですね。

【事務局】企画展だけでもたぶん30分は楽しめると思います。常設展示、展示だけでなく番組をご覧になる方もたくさんいらっしゃるのでは、そういうのも含めると2、3時間は滞在していただけて、まんべんなく楽しんでいただいているかなと感じています。

【会長】企画展の中にいる時間としては、30分くらいは見ていただいていると。

【事務局】はい、どうしても展示スペースが限られているので、30分くらいかなという感じです。

【委員】ひとつだけ。いま流れが傾いていて、引き戻すようなんですが、大きく分けると3つだけなんですよね、内容としては。それを考えると、いろいろな所を見れる、とくに興味があった所は何回も戻ってこれる、とくに大型のものは親子で見れるというのもあって、親も子も楽しめるとなると、こちらが良いのかなということと、人数をざっと計算したところ、全部のブースで20人くらいに対して、全種類入ったとしても、万華鏡のほうがいっぺんに入れる人数は多いのかなというのでもあって。つい先日名古屋のほうの科学館に行くと、丸一日いてもまだ回れない所があって、たくさん見る所があるというのは、こどもたちにとっても大人にとっても、わくわくする内容が増えるのは良いのかなと思うので、種類があるとい

う所も良いのかなと思いました。飽きが来ないというのはあるのかなと。内容的にはどちら
も面白くて、集客につながるかと思います。

【会 長】ほかにご意見ありますでしょうか。

【委 員】悩ましいですね。

【会 長】では、もう一度採らせていただいてよろしいでしょうか。

「万華鏡と鏡の不思議展」が良いかなと思われる方。

(4名が挙手)

「スペースパーク」が良いかなと思われる方。

(6名が挙手)

増えましたね。では、いま多数決を採らせていただいた「スペースパーク」で挙手があっ
たのが6名ということです。6名でしたので、7月からの夏休み企画展は「スペースパー
ク」ということにさせていただきたいと思います。なお、名称については現時点では仮称
となっておりますので、7月の時点で変わる可能性がございます。ご了承いただきたいと思
います。よろしいでしょうか。

【事務局】ご協議ありがとうございました。

(5) 【協議2】令和7年7月期全天周映画上映作品の選定について

【会 長】では次に、令和7年7月期全天周映画上映作品の選定にあたり、作品を視聴するた
め、会場の移動をお願いいたします。本日視聴していただくのは2本、作品の説明は視聴後
に事務局からお願いします。

【事務局】皆様にはこれから移動していただきますけれども、教育長は公務のため、ここで退
席されます。

【教育長】すみません。ではよろしくをお願いいたします。ありがとうございます。

(仁科教育長退席)

(プラネタリウムに移動)

ープラネタリウムで全天周映画候補作品試写を鑑賞ー

(上映終了後、実験実習室に移動)

【会 長】 それでは映画上映作品について、事務局から説明をお願いいたします。

【事務局】 失礼します。まずは長時間にわたりまして 2 本の映画をごらんいただきまして、ありがとうございました。資料 5 の 1、それから映画のチラシが 2 種類ございます。こちらのチラシをごらんください。

まずは、「全天周映画上映作品の選定について」をごらんください。全天周映画につきましては、年間 3 本、7 月と 11 月と 3 月に新作を投入しています。今回選定していただくのは、今年の 7 月から上映する作品です。候補となる 2 つの作品、どちらも恐竜でしたけれども、資料 5 の 2 ページにランキングがあって、上位 2 作品を選びましたということです。表の右寄りに星印の列がありますが、職員の評価から分析して、作品がよりこども向け、ファミリー向けのものか、大人向けの科学性の高いものかを示しています。左側に星印があるのがこども向けで、右ほど大人向けになります。得点も星印も、まったく同じような 2 作品ということになります。その下は、最近の上映作品の一覧です。

次のページ、資料 6 になります。全天周映画作品選定のガイドライン、こちらをごらんください。表がありますが、今月初めまで A、B、C の作品を上映していました。そして、今月切り替わって今 B、C、D、「ドラえもん」を含む 3 作品がかかっています。7 月からは C、D、E、つまり「MMX 火星衛星探査計画」と「ドラえもん 宇宙の模型」、この組み合わせについても考慮していただけたいと思います。それでは、いずれの作品が科学センターで上映するのにより相応しいか、ご協議いただけたいと思います。よろしく申し上げます。

【会 長】 ただいま説明がございましたが、何かご質問はございますか。

(とくに反応なし)

【会 長】 では、ご質問は無いようなので、これから各委員の皆様には作品選定に関する協議をお願いいたします。ご指名させていただきますので、作品の感想など教えてください。同じ順番になりますが、よろしく申し上げます。

【委 員】 2 作品とも魅力のある作品で、こどもたちがどちらを見ても喜ぶような作品だったのではないかなと思います。一つ目の作品（「超巨大恐竜」）は、ある程度恐竜のことを知っていて、その上で最新の情報はこういうことなんだなあと、こんな大陸があったんだなあと、そんな世界が今どんどん広がっていて、新しい発見がされているんだなあと、そういう面白さがあるなと思いました。

2 作品目（「T. REX 史上最強の恐竜」）のほうは、人気の T. REX を取り上げた作品で、今回 7 月から 11 月の夏休み、またこどもたちが来るということを考えると、新たに恐竜の世界に魅力を覚えていくこどもたちが、どんどんこれで生まれていったら良いんじゃないかなと。そこを皮切りに、どんどん世界を広げていくような、そんなきっかけの作品になってくれた

ら良いなど、見ながら思いました。なので、2 番目のほうが良いなど私は思いました。

【会 長】2 番目で。続きまして、次の委員さん、よろしくお願いいたします。

【委 員】どちらも本当に良い作品で、1 作目のほうは、大きい、迫力の部分がメインかなと思ったんですけど、じつは私も 2 作目が良いなと思ったのは、2 作目は映像も、本当の実写と、CG と、途中アニメも入っていたと思うんですけども、組み合わせられているし、時代的にも現代と過去とがあるし、あと音楽がすごく良いかなと思って、私は 2 本目が良いなと思いました。

【会 長】次の委員さん、お願いします。

【委 員】本当に甲乙つけ難しで、お二人意見を言われてすごく納得ではありましたが。2 作目の作品は、化石の発掘のあたりは見たことがなかったので、私も興味津々になったんですけど、感情的に、1 作目の卵を産んで守るとか、そういう所の感情にも惹かれて、あと意外な、卵の殻が厚かったり、地熱で温めたりとかすごい新発見があって、個人的には、1 作目にすごく惹かれました。

【会 長】次の委員さん、いかがでしょう。

【委 員】どちらの作品も見応えがあったかと思います。私も 2 作品出てきた中で、最初のほう、私はいいなと思ったんです。迫力がすごいあった。多少上のほうが見切れて見づらいところがあったのと、自分自身がいつもすごく見やすいところを選んで最初に座ってしまうところがあるので、下側のほうの人たちが見てどうなるのかなというところは少し気にはなりましたが、全体的な迫力だったり、画の流れはすごく見応えがありました。

2 作品目のほうは、最初の迫力を見てから見たので、画の流れがちょっと雑な印象を受けたのと、ストーリー性がすこし物足りないなという印象を受けました。上映時間としても 36 分と 30 分ということですが、最初のほうはあっという間に見終わった。あまり耳なじみのない恐竜でしたが、ストーリー性を含めて、恐竜を知らない人たちも見応えがあるのかなと、わくわくする所があったので、私自身は最初のほうの作品が気になりました。

【会 長】次の委員さん、よろしくお願いいたします。

【委 員】もうティラノサウルスは良いかなと思って、いろいろ出てるので。今回は違うのかなと思ってはいたんですけど、いざ両方見てみると、やっぱりティラノサウルスかなと思って。見やすさとか、映像とか考えると、ティラノサウルスと二つ並べると、ティラノサウルスのほうかなと私はみました。以上です。

【会 長】次の委員さん、よろしくお願いいたします。

【委員】1 本目のほうは迫力があり、いろいろな恐竜も出てよかったかな。ふたつ目のほうのティラノサウルスが、どンドンしている所に、小さいこどもが出たりするので、ちょっとと思う人もいるかなと思いました。もう僅差で、自分でも決めかねている所です。

【会長】次の委員さん、お願いします。

【委員】どちらも面白かったんですけども、1 本目の作品は NHK でやっていたので知っているんですけど、迫力的にはやっぱり全天周で見るのは全然違うなと思ったので、良かったです。夏休みは年齢層が低いので、初めのほうが最後まで見てくれるかなという印象を持ちました。初めのほうで。

【会長】次の委員さん、お願いします。

【委員】1 本目の映画は、見たことない恐竜がたくさん出てきて興味がわくのと、自然の摂理が、弱肉強食のドキドキ感が結構迫力があつたと感じました。T. REX のほうも、恐竜と言えばやはりティラノサウルスという、誰もが知っている恐竜の中で、発掘を経ていろんな形が変わっていく様を今回はじめて見させていただいて、最初からこうだったのではないんだなというのもあつたので、発掘によって真実がどンドン明らかになっていく、ということを知ることができるんだなと、僕の中ではだいぶ悩んで、どっちも良いなとすごく悩んでいるところです。

【会長】では、次の委員さん。

【委員】私もみなさんが言われるとおり、悩んでいます。こどもたちがたくさんみえるということで、ぱっと見のインパクトで最初のほうかなという気がした所です。でも、2 本目の化石の発掘もこどもたちが出てきてわかりやすく、小さなこどもたちがもしかしたら、身近な環境で化石があるかもと掘っても楽しいのかなと思ったりしますが、これは絶対化石だといわれても、事実だけ砂の塊でしかないので、本当に化石が見つかっているのか、もう少しこどもたちにわかりやすく見えても良いのかなと思ったので、最初のほうがわかりやすいかなと、わたし的には最初かなと思いました。

【会長】私もどちらかというとも最初のほうが、興味深いなと思いました。かなり長く委員をさせていただいているので、かなり恐竜に詳しくなりましたが、見たことがない恐竜がたくさん出てきたので、すごく新鮮で面白いなと思ってしまいました。

いかがでしょうか。みなさん決まりましたでしょうか。

では、これまでのみなさんからのご意見を踏まえて、結論を出したいと思います。また多数決を取らせていただきますけれども、よろしいでしょうか。

順番に行きたいと思います。1 本目に見せていただいた「超巨大恐竜 ギンドワナ大陸の

謎」が良いなと思われた方、挙手をお願いいたします。

(7名が挙手)

では、1作目のほうが多かったということで、「超巨大恐竜 ゴンドワナ大陸の謎」の提案にさせていただきます。よろしいでしょうか。

【事務局】ありがとうございます。

【会長】この結論により答申書を作成することとします。副会長よろしいでしょうか。

【副会長】はい、お願いします。

【会長】その他、事務局から何かございますか。

【事務局】とくにございません。

4 閉会

【会長】では、本日協議会で予定されたすべての議事が終了しましたので、進行を事務局にお返しいたします。

(ここから事務局が進行)

【事務局】ご審議いただきありがとうございました。以上で、倉敷科学センター協議会を閉会いたします。

—以上—

令和7年3月27日

会 長 箕口 けい子 

議事録署名人 桑本 康則 

議事録署名人 廣畑 栄三 